



## 教科における探究的な学習の充実

## 実践編



## 家庭科(家庭総合)

## 1 単元 「衣生活のマネジメント」(第1学年)

## 2 単元の目標

- (1) 被服と人との関わり、ライフステージの特徴に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。
- (2) 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

## 3 評価規準

| 知識・技能                                                                                                  | 思考・判断・表現                                                                                                                | 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・被服と人との関わり、ライフステージの特徴に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解している。<br>・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な、情報の収集・整理ができる。 | 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 |

## 4 単元の指導と評価の計画

●指導に生かす評価 ○指導に生かすとともに記録に残す評価

| 時間 | 問い(学習課題)・主な学習活動〔評価方法〕 |                                                     | 評価 |   |   |
|----|-----------------------|-----------------------------------------------------|----|---|---|
|    |                       |                                                     | 知  | 思 | 態 |
| 1  | 単元全体の問い(学習課題)         | 何のために着るのか?<br>～服を選んだり購入したりするときに大切にすべきポイントとは?～       | ●  |   | ● |
|    |                       | 服を選んだり購入したりするときに大切にすべきポイントを考え、単元の学習の見通しをもつ。         |    |   |   |
|    | 問い(学習課題)              | 日本や世界の民族服の特徴とは?                                     |    |   |   |
|    |                       | 世界各地の民族服が、気候や風土の影響を受けながらどのように発展してきたのかを調べ、その特徴を理解する。 |    |   |   |
| 2  | 問い(学習課題)              | 快適な被服の条件とは?                                         | ●  | ● |   |
|    |                       | 繊維の性質が被服の機能や快適さに与える影響を調べ、着心地の良い服の理由を考察する。           |    |   |   |
| 3  | 問い(学習課題)              | 健康と安全を守る被服とは?                                       | ●  | ● |   |
|    |                       | 被服による事故や健康被害について調べ、安全で快適に過ごすための被服を考察する。             |    |   |   |
| 4  | 問い(学習課題)              | 被服を大切に長く着るために必要なことは?                                | ●  | ● |   |
|    |                       | 被服の材料や構成に応じた管理方法を調べ、適切な手入れや保存の方法を理解する。              |    |   |   |

| 時間    | 問い(学習課題)・主な学習活動〔評価方法〕                                                             |                                                             | 評価 |   |   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----|---|---|
|       |                                                                                   |                                                             | 知  | 思 | 態 |
| 5     | 問い(学習課題)                                                                          | テーマパークに行くときのよりよいコーディネートとは？<br>～ファッションアドバイザーとして、コーディネートを考える～ |    | ○ |   |
|       | 学習内容を踏まえ、着用目的に応じた健康で快適、機能的なコーディネート进行考察する。<br>〔観察、ワークシート〕                          |                                                             |    |   |   |
| 6     | 問い(学習課題)                                                                          | テーマパークに行くときのよりよいコーディネートとは？<br>～自分たちの考えたコーディネートブラッシュアップする～   |    | ○ | ○ |
|       | 自分たちの考えたコーディネート进行提案する。また、自分たちの発表と他の発表を比較しながらコーディネート进行再検討し、ワークシートにまとめる。〔観察、ワークシート〕 |                                                             |    |   |   |
| 7     | 単元全体の問い(学習課題)                                                                     | 何のために着るのか？<br>～服を選んだり購入したりするときに大切にすべきポイントとは？～               |    |   | ○ |
|       | 今までの学習を振り返り、服を選んだり購入したりするときに大切にすべきポイントについてまとめる。〔観察、ワークシート〕                        |                                                             |    |   |   |
| 単元終了後 | 〔ペーパーテスト〕                                                                         |                                                             | ○  | ○ |   |

## 《 本単元における探究的な学習について 》

本単元では、繊維や生地の特徴を理解した上で、気候や風土、ライフステージや目的に合わせて、健康で快適、機能的な着装について考えるために必要な力を養うことをねらいとしている。単元のはじめに単元全体の問いを示すことで、学習の見通しをもたせるとともに、単元の後半の探究的な学習に向けての意識付けを図った。探究的な学習では「テーマパークに行くときのよりよいコーディネートとは？」という問いを設定し、それまでに学習したことを活用して課題に取り組み、その成果の発表とコーディネートの再検討を行った。単元の終わりに単元全体の振り返りを行い、服を選んだり購入したりするときに自分が大切にすべきポイントについてまとめた。また、探究的な学習に主体的に取り組むことができるよう、探究ルーブリックを用いて評価の観点や目標を示すとともに、グループで情報を共有しながら資料を整理する活動を取り入れた。なお、学習指導要領でも、健康・快適・安全な衣食住の生活を主体的に営むために、実践的・体験的な学習活動を通して、資質・能力を身に付けることができるよう指導することが求められている。

## 5 学習活動の実践と指導のポイント

### 1～4時間目

はじめに、服を選んだり購入したりするときに自分が大切にすべきポイントについて、優先順位を考え、単元全体の見通しをもたせた。その後、各時間に設定した学習課題の解決に取り組みながら授業を進めた。授業は、写真、実験、動画等を見た後、「なぜだろう」「不思議だな」「知りたいな」と思った疑問を、シートに記入する時間を設定した。そして、生徒自身が疑問を解決するために、これまでに学習したことを関連付けたり、調べたりしながら、健康で快適、機能的な被服についての課題を追究する展開とした。

綿  
【疑問】 なぜ、綿の布は水を吸収するの？  
【性質】 綿は天然繊維の一種 原料：綿花  
○メリット  
・吸水性に優れる  
⇒綿の断面に空洞があるため、この空洞に水分を含む  
・清涼感がある  
⇒汗を吸収して外に放出するとき、水分が気化し熱を奪うため、温度を下げる  
○デメリット  
・縮みやすい⇒干すときにしっかりとのぼす

「繊維の性質を学ぶ」の生徒の記述例

洗濯の失敗  
白いワイシャツと色の濃いＴシャツと一緒に洗ってしまい、白いワイシャツに色が移ってしまった。  
失敗の原因を解決するには  
(1) 洗濯：色柄物とそうでないものに分ける。  
(2) 干し方：スペースをあける。色移りする可能性があるため  
(3) 色移りの落とし方：ぬれているときに対処する。  
①50℃くらいのお湯＋濃いめの洗剤＋酸素系漂白剤  
②①に衣類を浸ける  
※クリーニング店に依頼する。

「洗濯の失敗から学ぶ」の生徒の記述例

## 5～6時間目 探究的な学習

### 探究的な学習の過程

5時間目

① 目標の確認



② 課題設定



③ 自己内振り返り



④ グループで考察



⑤ 個人で考察



⑥ 振り返り

6時間目



⑦ 発表(提案)



⑧ 振り返り

### 5時間目前半〔探究的な学習の過程①～④〕

「テーマパークに行くときのよりよいコーディネートとは?」という学習課題を示した後、探究ルブリック(p.5の6を参照)を用いて、探究的な学習の目標を確認した。その後、コーディネートの対象者は教科担当の先生であることと、五つの異なる条件があることを提示した。各グループには、五つの条件のうち一つを割り当て、その条件下で適したコーディネートについて考察する活動を行った。コーディネートを考察する際は、健康で快適、機能的な着装を意識し、これまでの学習内容を踏まえてグループで話し合い、検討を重ねながら学習を進める展開とした。

#### 《 五つの異なる条件 》

- ・春の強い風
- ・梅雨
- ・真夏の晴れ
- ・天気が変わりやすい秋
- ・真冬

### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

生徒に探究ルブリックを用いる目的や自己評価する際の判断基準を丁寧に説明し、生徒が活動の見通しをもてるようにした。また、これまでの学習内容のポイントを示し、グループでの話し合いが円滑に進むよう支援した。コーディネートを考える際には、例えば、「着用目的に適しているか」「季節等に応じた健康で快適な衣服か」「機能的か」「管理の注意点は何か」などに注意して考えるように伝えた。話し合いを進めていく中で、コーディネートの立案が難航しているグループには、「既習事項をもう一度確認しては?」「季節の特徴を調べてみては?」など、気づきを与える質問をすることで支援に努めた。

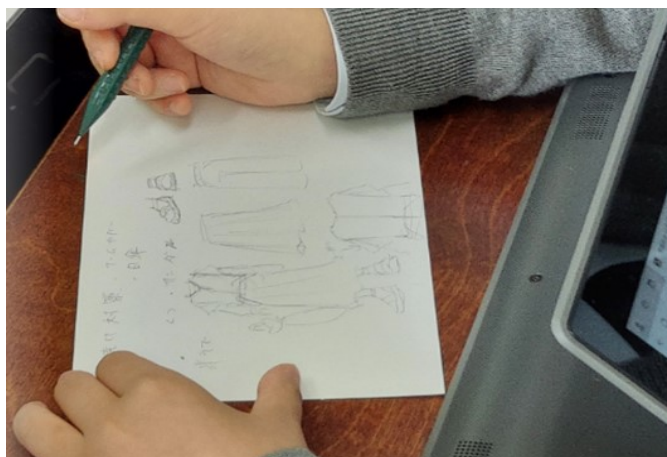
#### 《 学習内容のポイント 》

- ・被服を着用する目的
- ・快適な被服の条件
- ・繊維の性質
- ・健康と安全を守る被服
- ・被服の管理

生徒は、これまでの学習内容を教科書やワークシートを用いて振り返りながら、活発に意見交換を行っていた。あるグループでは、夏の熱中症を防ぐことに着目し、最も涼しく感じる被服の素材や、通気性の良い衣類の形状について、教科書やワークシートを活用しながら話し合い、それらを活かした快適なコーディネートのアイデアを出し合っていた。また、別のグループでは、被服の素材や管理方法を踏まえつつ、対象者の家族等を考慮したコーディネートを検討し、より実生活に即した提案を行っていた。



素材や衣類の形状について議論している場面



話し合ったアイデアをイラストで表現している場面

## 5時間目後半〔探究的な学習の過程⑤⑥〕

発表に向けて、グループの提案内容を整理し、情報の精査や再構成を行いながら、不足している点を補ったり、強調したい点を見直したりするなど、より分かりやすく伝わるよう調整を行った。その後、探究ルーブリックで振り返りを行った。

### ◎指導のポイントと生徒の様子

分かりやすい発表にするために、情報を取捨選択することや、伝え方を工夫することなどを意識させた。

生徒は、話し合う中で論点が明らかになっていたり、根拠を示して説明できるようになったりするなど、協働的に学んでいる姿が見受けられた。

振り返りシートに探究ルーブリックを示し、自己評価する際は、これまでの学習内容を確認しながら、S、A、B、Cのいずれかで評価するよう指導した。また、その評価となった理由や感想を記入する欄を設けた。



各グループから提出されたコーディネートプラン

本日の振り返り  
・探究ルーブリックでの自己評価

| 問題の<br>分類・検討 | 表現 | 協働性 |
|--------------|----|-----|
| S            | S  | S   |
| A            | A  | A   |
| B            | B  | B   |
| C            | C  | C   |

・感想

振り返りシート

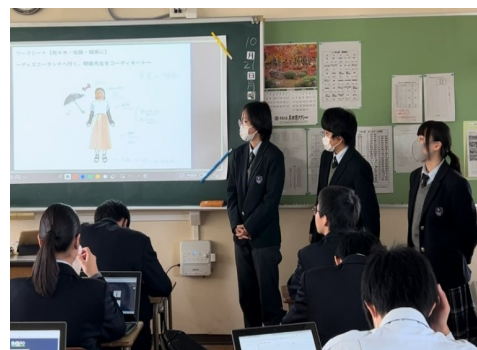
## 6時間目〔探究的な学習の過程⑦⑧〕

この時間は、各グループが考察したコーディネートクラス全体に向けて発表する時間とした。その発表を聞きながら、発表内容の「よかった点」「改善点」「感想」「評価」をワークシートに記入し、互いの発表から気付いたことや学んだことを基にコーディネートを再検討し、ワークシートにまとめる展開とした。

### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

探究ルーブリックの観点「表現・発表」を確認した上で、発表を行うように指導した。その際、より深い学びにつなげるため、発表に対する疑問・質問、考察に対する意見、発表全体を通じた感想等を積極的に発表者へ投げかけるよう促した。

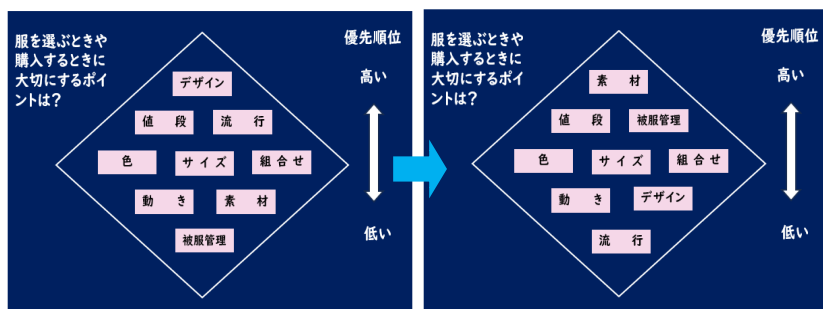
生徒は、自分たちが探究してきたことを分かりやすく伝えるために、工夫を凝らしたスライドを作成し発表していた。聞き手も発表者に対し、積極的に疑問や意見を投げかけ、健康で快適、機能的な衣服の選び方のポイントについて活発な意見交換を行っていた。



発表の様子

## 7時間目

単元全体の振り返りとして、単元の最初に考えた、服を選んだり購入したりするときに自分が大切にすべきポイントが、本単元の学習を通してどのように変容したかを確認する時間を設けた。生徒は、ロイロノート上の大切にポイントが入力された付箋を何度も動かしており、優先順位を検討していた。特に、「デザイン」や「流行」の優先順位が下がって、「素材」や「被服管理」が上位にくるなど、学習した内容を優先順位の高い位置に移動させた生徒が多数おり、単元を通して、服を選ぶときに考えるポイントが変化している様子がうかがえた。



ある生徒の優先順位の変化

6 探究的な学習における評価について

◎探究ルーブリックを用いた生徒の自己評価

ここでは、「問題の分析・検討」「表現・発表」「協働力」の3つの観点を設定した。探究ルーブリックを学習前に示すことで、生徒は目指すべきゴールが明確になり、主体的に考えながら学習を進めることができた。また、単元の終わりに探究ルーブリックを用いて単元全体の学習を振り返り、自己評価を行うことで、自らの成長を実感することができた。

|   | 問題の分析・検討                                                                                   | 表現・発表                                                                         | 協働力                                                                       |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| S | 学習内容を踏まえ、問題を三つ以上の視点で分析・検討し、自分の考えを述べている。また、グループ内の意見に対して、複数の視点をもって話し合い、自分やグループの意見を修正・改善している。 | 学習内容を踏まえ、グループの工夫点をまとめ、それについて三つ以上の視点で考察し、自分の考えを深め、表現している。                      | 自ら進んで他者と関わり、自分の考えを主張したり、他人の意見を尊重したりしながら、積極的に協働することができる。                   |
| A | 学習内容を踏まえ、問題を二つの視点で分析・検討し、自分の考えを述べている。また、グループ内の意見を参考に自分の考えを振り返り、自分の考えを修正・改善している。            | 学習内容を踏まえ、グループの工夫点をまとめ、それについて二つの視点で考察し、自分の考えを深め、表現している。                        | 自ら進んで他者と関わり、他人の意見を尊重しながら、積極的に協働することができる。                                  |
| B | 学習内容を踏まえ、自分の考えを述べることができ、グループ内の意見をまとめている。                                                   | 学習内容を踏まえ、グループの工夫点をまとめ、自分の考えを表現している。                                           | 他者と関わろうとし、周りの意見を聞きながら、協働することができる。                                         |
| C | 次のうちのいずれかに当てはまる場合。<br>・学習内容を踏まえていない。<br>・自分の考えを述べることができない。<br>・グループ内の意見をまとめていない。           | 次のうちのいずれかに当てはまる場合。<br>・学習内容を踏まえていない。<br>・自分の考えを表現していない。<br>・グループの工夫点をまとめていない。 | 次のうちのいずれかに当てはまる場合。<br>・他者と関わろうとしない。<br>・周りの意見を聞くことができない。<br>・協働することができない。 |

◎「思考・判断・表現」の評価例

教師による評価は、ワークシート「テーマパークに行くときのよりよいコーディネートとは？」に対する生徒の記述を分析することによって行った。その際、判断基準は、探究ルーブリックの観点「表現・発表」と同様にした。単にグループで考察しているだけでなく、学習内容を踏まえ、複数の視点で分析し、自分の考えを振り返り修正・改善できている記述に関してはA評価とした。



| 「十分満足できる」状況 (A)                                          | 「おおむね満足できる」状況 (B)                   | 「努力を要する」状況 (C)                                                                |
|----------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 学習内容を踏まえ、グループの工夫点をまとめ、それについて二つ以上の視点で考察し、自分の考えを深め、表現している。 | 学習内容を踏まえ、グループの工夫点をまとめ、自分の考えを表現している。 | 次のうちのいずれかに当てはまる場合。<br>・学習内容を踏まえていない。<br>・自分の考えを表現していない。<br>・グループの工夫点をまとめていない。 |

【B評価の記述例 「繊維の性質」について考察】

繊維の性質に着目し、コーディネートを考える活動を行った。グループ活動では、お互いに意見を述べ合い、綿、麻、ポリエステル、レーヨンなどの繊維のうちどの素材が一番通気性が良いかを考えた。その結果、私たちのグループは「麻」を素材として選んだ。「麻」は張りとしがあり、触ると冷感がある。そのため、皮膚に密着することなく涼しさを感じることができる。また、帽子や手差しをプラスして日差しを避ける工夫をした。

【A評価の記述例 「繊維の性質」と「被服の管理」の二つの視点で考察】

条件「真夏の晴れ」に合わせ快適な被服について、グループで意見を出し合った。吸水性が良く、手入れがしやすい「綿」を選択した。グループの意見に「『綿』は『麻』よりも洗濯後の管理がしやすい。」とあった。私は「麻」の素材が適していると思っていたが、一日の快適さだけでなく、日頃のアイロンなどの手入れを考え、被服を購入する計画を立てる必要があると感じ、考えが変わった。

## 7 授業者より～実践の成果とこれからの方向性～

本実践では、健康・快適・安全な衣生活を営むための学習課題を設定し、学習課題を追究する過程で生徒の気付きや疑問を大切にする探究的な学習を取り入れました。特に、グループワークと個人での学習活動にめりはりを付けることで、生徒が主体的に学習に取り組めるように心掛けました。5時間目には、それまでの学びを踏まえてコーディネートの提案ができるよう、対話的な学習の場面を多く設けました。生徒は、グループでの話し合いを通して、自分の考えを整理し、様々な視点から提案することができていました。また、活動ではロイロノートを使用することで、意見の共同編集や他グループの取組を参考にすること、スムーズな課題提出などが可能となり、生徒の学習の広がりを実感でき、学びがスピーディーに展開される様子を目の当たりにすることができました。さらに、探究ルーブリックを活用することで、生徒は具体的な目標を把握し、自己評価や相互評価を通して、自分の成長を実感しながら学習を進めることができました。



今回の実践を通して、探究的な学習が生徒の主体性を高め、様々な視点で考察する力を養う有効な手法であることを改めて実感しました。本実践で得られた成果と課題を踏まえ、今後は、探究的な学習とホームプロジェクトとの連携を強化し、生徒が学習内容を家庭生活に活かせるような指導を充実させていきたいと考えています。

### 【探究的な学習実施後の生徒の振り返り】

- ・繊維の特徴を考え、衣服選びを実践することができた。オシャレだけでなく、TPOや被服管理を考えた選び方ができた。自分の考えや友達の考えの変化を共有することができ、とても興味深かった。「なぜ？」や、「よりよくするには？」と思いを巡らすことで、自分の衣生活が豊かなものになると分かった。
- ・グループで先生のコーディネートを考える時間は、とても楽しかった。みんなと意見を出し合い、先生に似合う服装を考えた。授業で学んだことを踏まえて、快適かつ手入れしやすい素材を探したり、他のグループの発表を聞いたりして、自分の考えを広げることができた。今回の経験を通して、普段から服を選ぶことや、周りの人の服装を観察することが楽しくなった。次回の授業では、実際に店舗に行きコーディネートを実践するような実習を取り入れてほしいです。
- ・友達と服選びについて話をするようになり、みんながそれぞれ違う視点をもっていることに気付いた。なぜこの服を選んだのか、もっと快適に過ごすにはどうすればいいのかを考えるうちに、服を選ぶことがもっと楽しくなった。
- ・グループで意見交換し、寒さ対策を一番に着目してコーディネートを決めた。私は素材選びを担当し、他のメンバーはデザインや色合わせを担当した。また、発表では考えを相手に伝えることが難しいときもあったので、分かりやすく伝える大切さを知った。
- ・ファッションアドバイザーの視点でコーディネートを考える活動は貴重な経験だった。特に、様々な素材の特徴を比較検討し、風の強い日にも適しており、着る人が快適と思うような素材を選ぶことが大変だった。単に服を選ぶだけでなく、着る人の個性やTPOに合わせて、最適な組合せを考える創造的な活動だった。授業で学んだことだけでなく、いろいろな考えを組み合わせる必要があった。とても楽しくできた。

本実践で作成した資料は、栃木県総合教育センターWebサイトで閲覧及びダウンロードできます。  
また、他教科の実践についても紹介されていますので、ご覧ください。



【問合せ先】 栃木県総合教育センター 研究調査部

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070 TEL 028(665)7204

